

問1 近畿地方の人口密度を示した資料において、滋賀県の南西部、京都府と境界を接する地点に位置する県庁所在地の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2015年 岡山公立入試 類似）

- 琵琶湖から流れ出る瀬田川の起点付近に位置し、京都や大阪方面との結びつきが強い。
- 滋賀県の北東部に位置し、かつて北国街道の宿場町として栄えた歴史を持つ。
- 県内最大の人口を抱える工業都市であり、琵琶湖の東岸に位置している。
- 県の地理的中心部に位置し、県内の各地方への行政サービスを均等に行う役割を担っている。

問2 日本の都道府県別の工業統計において、全国平均と比較した際の大阪府の事業所の特徴について述べた文として正しいものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

- 従業員10人未満の小規模な事業所が占める割合が、全国平均よりも高い。
- 従業員300人以上の大規模な工場の割合が、全国の都道府県の中で最も高い。
- 1事業所あたりの製造品出荷額が、輸送用機械を中心に全国で最大である。
- 小規模な事業所は激減しており、現在は大規模な外資系工場が大部分を占めている。

問3 日本の人口分布を分析すると、東京、名古屋、そして西日本の経済の中心地である都市の周辺に人口が極端に集中しており、これらは「三大都市圏」と呼ばれます。この三大都市圏の一角をなす、西日本の都市を次の中から選びなさい。（2023年 福岡県公立入試 類似）

- 大阪
- 福岡
- 広島
- 札幌

問4 1896年に滋賀県で発生した記録的な豪雨による大水害について、その被害状況を説明した記述として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

- 琵琶湖の水位が記録的に上昇したことで、下阪本村の全戸にあたる700戸が浸水するなど、周辺の地域に甚大な被害をもたらした。
- 湖の周辺に設置されていた堤防が日本海側からの高潮によって決壊し、滋賀県北部を中心に家屋の流出が相次いだ。
- 大阪湾からの逆流を防ぐために水門を閉鎖した結果、琵琶湖の出口が完全になくなり、京都市内が長期間冠水した。
- 湖の干拓事業が進んでいたため、雨水を貯める機能が低下しており、短時間の雨で急激に水位が上昇して農地に塩害をもたらした。

問5 近畿地方における歴史的資源と観光業の関係について述べた文として、統計的な傾向と一致するものはどれですか。国宝や重要文化財の数と、宿泊客の利用目的の関連性に着目して選びなさい。（2014年 兵庫県公立入試 類似）

- 重要文化財などの歴史的資源が豊富な府県ほど、宿泊客全体に占める観光目的の利用者の割合が高い傾向にある。
- 宿泊施設の総数が多い府県ほど、歴史的資源の数に関わらず観光目的の宿泊者の割合が必ず高くなる。
- スキー場などのレジャー施設の数が多い府県ほど、重要文化財の数に比例して観光目的の宿泊者が増える。
- 歴史的資源が豊富な府県であっても、宿泊客の多くはビジネスや業務を目的とした利用者が大半を占めている。

問6 近畿地方の各府県が占める産業の割合や特徴について述べた文として、統計的な事実と一致するものはどれですか。（2021年 福岡県公立入試 類似）

- 大阪府では卸売業などの商業活動が盛んなため、商品販売額が工業生産額や農業産出額を大きく上回っている。
- 三重県などの周辺府県では、広大な農地を活かした農業が産業の主軸となっており、農業産出額が工業生産額を上回っている。
- 近畿地方のすべての府県において、食料自給率の向上を背景に、農業産出額が商品販売額よりも高い数値を示している。
- 大阪府は工業専用地域としての役割が強いため、工業生産額が商品販売額の2倍以上の規模に達している。

問7 京都市では、歴史的な町並みや文化財を守るために、建物の高さや意匠（デザイン）を制限する独自の取り組みが行われています。このような都市計画上の規制を設ける最大の目的として、最も適切なものはどれですか。（2026年 福岡公立入試 類似）

- 再開発を促進し、容積率を緩和することで高層ビルの建設を増やすため
- 伝統的な建築物と周囲の環境を調和させ、景観の保存を図るため
- 工業地帯を拡大し、近代的な工場を市街地の中心部に誘致するため
- 建物の建設コストを削減し、新しい住宅を短期間で大量に供給するため

問8 近畿地方などの都市部で特に発展している「情報通信業」は、情報の伝達や処理、ソフトウェアの開発、放送などのサービスを提供する産業です。日本の産業分類において、商業や観光業などとともにこの業種が分類される区分として適切なものはどれですか。（2014年 兵庫県公立入試 類似）

- 第1次産業
- 第2次産業
- 第3次産業
- 第4次産業

答え合わせ・解説

問1	答え 1 琵琶湖から流れ出る瀬田川の起点付近に位置し、京都や大阪方面との結びつきが強い。	滋賀県の県庁所在地である大津市は、県内の南西部に位置し、琵琶湖から唯一流れ出る河川である瀬田川の起点に位置しています。地理的に京都府に隣接しているため、京阪神大都市圏との経済・交通の結びつきが非常に強く、県庁所在地でありながら他府県への通勤・通学者が多いのが特徴です。北東部の記述は長浜市、東岸の工業的性格は草津市などに当てはまります。
問2	答え 1 従業員10人未満の小規模な事業所が占める割合が、全国平均よりも高い。	大阪府、特に東大阪市や八尾市などの地域には、高度な技術力を持つ中小企業の工場が集積しています。工業統計調査の結果においても、従業員が10人未満の小規模な事業所が占める割合は70%を超えており、全国平均を上回る高い数値を示しているのが大きな特徴です。これらは「街工場」として日本のものづくりを基盤から支える役割を担っています。
問3	答え 1 大阪	日本の人口は、東京、名古屋、大阪を中心とした地域に約半数が集中しており、これらを総称して三大都市圏と呼びます。特に大阪を中心とした近畿圏は、古くから商業や工業が発展し、西日本最大の経済・文化の拠点としての役割を果たしてきました。
問4	答え 1 琵琶湖の水位が記録的に上昇したことで、下阪本村の全戸にあたる700戸が浸水するなど、周辺の地域に甚大な被害をもたらした。	1896年（明治29年）の豪雨では、4日間で1000ミリという年間降水量に近い雨が降り、琵琶湖の水位が上昇しました。資料によると、この災害によって死者・行方不明者が34名にのぼり、下阪本村のように全戸が浸水する村が現れるなど、近現代における日本の水害史上でも特筆すべき被害となりました。この背景には、当時の琵琶湖の流出河川が瀬田川一本のみで、排水能力が限定的であったという地理的要因もありました。
問5	答え 1 重要文化財などの歴史的資源が豊富な府県ほど、宿泊客全体に占める観光目的の利用者の割合が高い傾向にある。	近畿地方、特に京都府や奈良県などは、国宝や重要文化財といった歴史的な文化財が日本国内でも有数の集積地となっています。これらの文化財は強力な観光資源として機能するため、その地域の宿泊客の動向を分析すると、ビジネス客よりも観光を主な目的とする宿泊者の割合が顕著に高くなるという相関関係が見られます。宿泊施設の数そのものではなく、その土地が持つ「文化財」という資源の豊かさが観光需要を直接的に誘発しているのが特徴です。
問6	答え 1 大阪府では卸売業などの商業活動が盛んなため、商品販売額が工業生産額や農業産出額を大きく上回っている。	近畿地方、特に大阪府を中心とする地域では、商業（第3次産業）の比重が非常に高いのが特徴です。具体的には、商品販売額が突出して高い大阪府に対し、三重県などは工業生産額の割合が比較的高い傾向にあります。一方で、農業産出額は都市化が進んでいることや土地利用の制約から、商業や工業の規模と比較すると、近畿地方のどの府県においても非常に小さい規模にとどまっています。
問7	答え 2 伝統的な建築物と周囲の環境を調和させ、景観の保存を図るため	京都市は古都としての歴史的な価値を維持するために、全国的に見ても非常に厳しい景観条例を制定しています。この条例は、単に古い建物を残すだけでなく、新しく建てられる建物に対しても高さや色の制限（建設規制）を課すことで、歴史的な町並み全体の雰囲気や景観を損なわないようにすることを目的としています。
問8	答え 3 第3次産業	日本の産業は、自然界から資源を採取する農業や林業などの第1次産業、それらを加工する製造業や建設業などの第2次産業、そして形のないサービスや情報の提供を行う第3次産業に大別されます。情報通信業は、情報という無形の付加価値を扱うため、サービス業や小売業と同じ第3次産業の主要な構成要素となっています。